



川西幼稚園だより

大人になったあなたを支えるのは、子ども時代のあなたです

令和6年4月9日

富田林市立川西幼稚園



桜(さくら)

入園進級おめでとうございます。子どもたちの成長を心よりお祝いいたしております。

「今を生きて咲き、今を生きて散る花たち。今を忘れて生き、今を忘れて過ごす人たち。」

という詩を書いた詩人：坂村真民さん。「散る桜 残る桜も また散る桜」という歌を詠んだ良寛和尚。日本固有種の「桜」を目の前にすると年齢も時代も関係なく、誰もが人生一度きり。精一杯に今を生きよう！と感じるのですね。

さて、昨年度9名の卒園児を送り出し、今年度は13名の入園児を迎えました。卒園児は、公立幼稚園3年保育、小学校給食、5時まで預かり保育、毎日読み聞かせの第一期生となりました。家庭教育と園の教育が両輪となり、身も心も大きく成長した子どもたちを誇らしく見送ることができました。

教職員で振り返りをしたところ、年長組さんのする遊びに憧れを抱き「自分もやってみたい。」という気持ちが芽生え、次に、学ぶの語源の「まねぶ」から遊びを工夫しながら可能性を広げる様子が多く見られました。今年度も隣接の川西小学校や第二中学校、河南高校などとの交流もたくさん計画されています。OUTPUT(伝えたいことを表現)するためにINPUT(知識や技能を習得)という通常と逆の(?)プロセスをじっくり各自考えながらやってみることができるのが豊かな幼児教育期です。例えてみると…「恋心を伝えたいから→文字を覚える。」という順です。教育の世界では、今、このような順を大切にされる流れになってきています。同じように、英語が話せるようになったら世界中に旅行に行く!と考えていたら、いつまでたっても行けるようにならないものです。旅行に行ってもっと現地に人と話したいと心に火が点けば、自然に英会話に取り組む時間を作るようになります。時間を味方につけられればできないことなんてありません。優秀な野球指導者は、子どもに大きなボールと太いバットを持たせて、カキーン!と打つ感覚を楽しませてから、「もっと遠くへ飛ばしたくないかい?」と訊いて、子どもが「飛ばしたい!」と言ってから基礎を教えます。

サッカー・バスケットならシュートから。計算ならお買い物ごっこから・・・

育てたいこと 4月のねらい

- 5歳児：年長児になった喜びや自覚をもち、友達や先生と一緒に積極的に園生活を楽しむ。春の自然の中でのびのびと体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- 4歳児：進級の喜びを感じながら安心して過ごす。自分のしたいことを見つけて遊ぶことを楽しむ。
- 3歳児：幼稚園で安心できる場を見つける。園生活の仕方を知る。

毎月の子どもの成長や季節にあった教育のねらいをお知らせします!

4月生まれのお友達

お誕生日おめでとう



たんぼぼ組、もも組、すずらん組の3名のお友達が誕生日でした。

誕生日会には誕生児の保護者の方も一緒にお祝いしていただきます。お子様の生い立ち等のエピソードを話していただくと思います。かけがえのない大切な存在であることが子どもたちにも伝わればいいなと思っています。